

レポート

科学館でこんなことがありました

7月21日(土)の夜は、プラネタリウムホールで「小松左京ナイト」を行いました。昨年亡くなったSF作家小松左京氏の濃いお話が展開されました。科学館との意外な縁もお聴きすることができました。

ここから夏休みに入って、怒涛の行事ラッシュが始まりました。27日(金)は夏休み自由研究第1弾「紙ブーメランを作って飛ばそう！」28日(土)はファミリー電波教室を開催しました。同日は「スピカ望遠鏡工作教室」も行い、さらに夜は天体観望会「土星と月をみよう」を開催しました。

翌29日(日)は手作り万華鏡教室と楽しいお天気講座「ペットボトルで雨量計を作ろう」が開催されました。

月が変わって8月。1日(水)と2日(木)は夏休みミニ气象台2012、そして7日(火)は花火の化学展スペシャルレクチャー＆花火実演でした。

一般向けの行事の他にも教員研修も行なっています。7月25、26日は音の工作実験、8月8、9日は結晶の実験です。お盆を挟んで夏休み後半もたくさんの行事が予定されています。

そして9月4日、企画展「渋川春海と江戸時代の天文学」が開催されます。囲碁ファンは、本因坊道策に初手天元に打った棋譜で有名かもしれません。天元、目外し、目外し、目外し、辺、目外し、掛り、しまり、辺、掛り、というとんでもない応手です。Wikiの渋川春海でみることができます。



広 告